

家具・建具・じゅう器等卸売業における死亡災害事例（1999-2021年）

年	月	発 生 時	死亡災害事例	起因物 (小)	事 故 の 型	労 働 者 規 模
2014	1	12 ～ 13	追い越し車線を走行中の被災者運転の普通乗用車は、走行車線を走行中の普通乗用車に追突後、左側ガイドロープに衝突し、その弾みで追い越し車線に跳ね返されたところ、中型貨物車に衝突された。	231	17	100 ～ 299
2014	2	10 ～ 11	被災者は、車載型小型移動式クレーンを使用し、発注のあったサイディングボードを現場に下す作業を1人で行っていたが、荷の下敷きになっているところを通行人に発見された。荷台上の荷の下部のパレットの内側に単管2本を通し、アイ付繊維スリング2本を玉掛し、無線操作装置を使用しつり上げた際、荷が被災者に落下し、死亡したと思われる。	611	4	10 ～ 29
2014	9	3 ～ 4	エンジンプローで路肩に停車中の大型トラックに追突した。運転手は全身打撲を負い、同乗していた被災者は頭を強く打ち、死亡した。	221	17	50 ～ 99
2014	12	15 ～ 16	配送移動中、トンネル内で前方に停止していたトラックに追突した。	221	17	30 ～ 49
2013	10	13 ～ 14	出荷のため、カゴ台車に机の天板（33kg）12枚をのせ、労働者2名で倉庫建屋からトラックに運ぼうとしたところ、カゴ台車が倒れ、カゴ台車を引いていた労働者がその下敷きになった。	362	6	10 ～ 29
2011	4	15 ～	2tトラックにて国道を南下走行中、左カーブを曲がりそこない、反対車線にはみ出し、対向車の乗用車とトラックに接触衝突したものの。	221	17	1～ 9

		16				
2006	3	15 ～ 16	商品搬入のため、坂道に車輛を駐車させておいたところ、その車輛が少しずつ後退してきたため、とっさに被災者が力で止めようとしたが止めきれず、さらにその後方にあった門柱との間に体が挟まれた。	221	7	30 ～ 49
2005	1	10 ～ 11	高さ3mの棚上で、フォークリフトのパレットに荷を積む作業中、床に墜落した。	414	1	10 ～ 29
2003	4	10 ～ 11	エレベーターで商品を3階から1階に降ろしたときに、昇降路1階の昇降式フェンスがエレベーター1階到着とともに上昇したため、上昇するフェンス内側と昇降路出入口上部枠の棧との間に上半身をはさまれた。	214	7	1～ 9
2002	12	9 ～ 10	フォークリフトで合板等を運搬してきて、フォーク上に荷を積載したままの状態でも前に回り込み他の荷の確認と取出しを行っていたときに、フォーク上の荷が頭上に落下した。	222	5	1～ 9
2001	7	0 ～ 1	シートハウス(仮設のテント状のパイプハウス)の明かり取りの補修を行うため、高さ約5mのハウス屋根に上っていたところ、シートを踏み抜きアスファルト床上に墜落した。	415	1	1～ 9
2001	2	8 ～ 9	エレベータ(積載荷重約1.5t)で1階からダンボール20枚と神棚セット1個を中2階へ運ぶためエレベータの中から昇降路の外側の操作ボタンを押して上昇させたところ、積荷が動いたため足が昇降路に押し出されて搬器の床と昇降路の形鋼との間に下腿及び下腹部を挟まれた。	214	7	10 ～ 29
1999	2	0 ～ 1	バイパスを走行していたダンプが、左カーブのトンネル内で前の普通乗用車3台を追抜くため反対車線を走行し、トンネルを出たところで、前から来た2トントラックと正面衝突した。	221	17	1～ 9
1999	1	15 ～ 16	国道上をライトバンで運転走行中、センターラインを越え、対向の大型貨物自動車と正面衝突した。	231	17	1～ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

https://www.jisha.or.jp/international/topics/202210_30.htmlに戻る。